

2021 年 5 月 12 日

〈ニュースリリース〉

サントリーホールディングス株式会社
サントリー食品インターナショナル株式会社

**鹿嶋市と持続可能な資源循環型社会の形成に向けた
「ボトル t o ボトル」 水平リサイクルに関する
協定を締結**

— 「ボトル t o ボトル」 水平リサイクルの取り組みを加速 —

サントリーMONOZUKURI エキスパート（株）とサントリー食品インターナショナル（株）は、茨城県鹿嶋市と、持続可能な資源循環型社会の形成に向けた「ボトル t o ボトル」 水平リサイクルに関する協定を 5 月 12 日（水）に締結しました。

サントリーグループは、2012 年に国内清涼飲料業界で初めてリサイクル素材 100% のペットボトルを導入^{※1}。2018 年には、ペットボトルリサイクルにおいて CO₂ 排出量低減と再生効率化を同時に実現する「F to P ダイレクトリサイクル技術」を世界で初めて開発^{※2}（ニュースリリース No.13428 参照）するなど、業界に先駆けて技術革新を進め、積極的に「ボトル t o ボトル」 水平リサイクルに取り組んできました。

2 月には、兵庫県東播磨の 2 市 2 町^{※3}と協定を締結。市民・町民の皆様が分別した使用済みペットボトルを新たなペットボトルに再生する「ボトル t o ボトル」 水平リサイクルの取り組みを 4 月から開始しました。（ニュースリリース No.SBF1079 参照）

※1 メカニカルリサイクルとして

※2 協栄産業（株）など 4 社で共同開発

※3 高砂市、加古川市、加古郡稲美町、加古郡播磨町

今回、茨城県鹿嶋市と「ボトル t o ボトル」 水平リサイクルに関する協定を締結し、鹿嶋市の住民の皆様が分別した使用済みペットボトルを新たなペットボトルに再生する「ボトル t o ボトル」 水平リサイクルに取り組めます。

「プラスチック基本方針」で掲げている「2030年までにグローバルで使用するすべてのペットボトルの素材をリサイクル素材あるいは植物由来素材に100%切り替え、化石由来原料の新規使用ゼロの実現」を目指し、「ボトル to ボトル」水平リサイクルをさらに推進していきます。

▽サントリーグループの環境負荷低減活動

<https://www.suntory.co.jp/eco/teigen/>

▽容器包装の取り組み

https://www.suntory.co.jp/company/csr/env_circular/

以 上

水と生きる SUNTORY

「水と生きる」は、私たちがお客様や社会と交わす約束です。
貴重な水を守り、水を育む自然環境を次世代につなぐこと。商品やサービスを通じて人々の心を潤すこと。
水のように柔軟に力強く新たな価値創造に挑戦すること。
これらの約束を果たすため、私たちは様々な活動に取り組んでいます。